

令和元年度事業「西川町議会事務事業評価シート」  
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
2-1	2款1項5目（企画費） 210-104-1	まちづくり総合支援事業(地域おこし協力隊)

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	17	地域づくりにとって、地域おこし協力隊の力は町の活性化のためにも必要だが、単なる地域の手伝いのためだけの協力隊は必要ない。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	13	地域おこし協力隊は制度があるから募集するのではなく、町の目的（必要性）を明確にした募集をすべきであり、協力隊に対しての使命を明確にすべきである。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	6	満期3年を過ぎた協力隊、満期後に定着した地域おこし協力隊がほとんどいない。 費用対効果の面からみても効率性は悪い。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	6	任期後の移住（定住）はほとんどなく、任期途中退任が多く、実績が上がっていない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	1 きわめて良好である 100点	42
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	④ 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	地域おこし協力隊は町の活性化を図るうえで必要であり、過去の問題点を整理し、改善を図り継続していくべきである。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
受け入れ時に、町として何を期待するのか、協力隊員は何をしたいのかのマッチングを図り、地域おこし協力隊が任期後も西川町で暮らすことができる将来設計を立てられる体制作りが必要。
やみくもに募集をすることなく、協力隊が定着することが可能かを見極め、行政として定着に向けた相談や支援が必要である。